

ほ ど 教育センター通信

火床の火の心を紡ぐ

第7号（通算第38号）
平成29年2月8日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



小刀学習（竹箸づくり）の様子（三条小、
裏館小、上林小の4年生）1月20日

「つながる学び」 教育センター 指導主事 小林貴英

ある小学校の5年生の外国語活動を参観しました。子どもたちは毎週の授業を心待ちにしているということで、明るい表情で元気いっぱい英語を使って活動をしています。

What colors do you like? —— I like green.

What shapes do you like? —— I like triangle.

授業者の上手な進め方により、児童は飽きることなく上記の英語を何度も声に出します。そうして体に染みついた英語が、相手との情報交換の場面ではスラスラと口から発せられます。コミュニケーションが成立していることに全員が満足した様子です。今回の好みの色や形を尋ねる活動は、家庭科のコースター作りにつながっていくのだそうです。このことは、英語を話すこと自体が目的ではなく、話す行為のもう一歩先に目的があることであり、これこそが言葉が持つ役割です。このように英語を話すことに意味を持たせることで、その英語が子どもの心にしっかりと残っていくはずです。

さて、昨年末に配付された新潟県教育委員会からのリーフレット「分かる授業づくり」には、Web 配信問題から見えてきた課題について掲載されていました。そのひとつを見てみます。

次の対話文が成り立つように（ ）内の語句を並べかえなさい。（中学2年：7月配信問題）

A : (sport / she / what / like / does / ?)

B : She likes basketball very much.

この問題は、5年生の学習を基にして What sport does she like? と答えられそうですが、正答率はわずか3割弱です。誤答の多くは What does she like sport? というのですが、私が以前受け持っていた生徒も同様の間違いをよくしていました。間違いの理由はいくつか考えられますが今回は割愛します。ただ、私が反省しなければならないのは、“5年生での学びを中学校で生かせなかった”ということです。“生かせなかった”というよりは“生かさず”とすら考えていなかったのかもしれませんが。私は、小学校での学習内容を知らないまま、中学生に英語を教えていました。もし私が小学校での学びを知っていたり、知ろうと努力したりしていたなら、つながりを意識した授業に変わっていたはずで、小学校の時と同じ活動をして学ぶ意欲を低下させるようなことはしなかったでしょうし、小学校段階よりも発展的な活動を設定していたかもしれません。各校にある小中一貫教育カリキュラムは、全教科における“つながり”を示してくれています。「子どもたちは何を学んできたのか」「この学びはどこにつながっていくのか」を知ることで、授業づくりに役立ちます。子どもたちの明るい未来へとつながる宝箱だと思えます。

平成28年度「教職員研修、講座」を振り返って

教育センターが実施している「教職員研修、講座」も今年度で4年目となりました。目的は「三条市の小中一貫教育についての理解を深め、教職員の指導力の向上を図ること」です。皆様のご理解・ご協力のおかげですべて終了しました。研修の様子は「教育センター通信」でいくつか紹介してきましたが、今号では、受講者数・評価など数値的な面から「教職員研修、講座」を振り返ってみました。

I 基礎研修

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
小中一貫教育基礎研修会	1	5月	109	98

II 実践研修

1 小中一貫教育を通して学力を向上させる研修

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
NRT分析を活用した授業改善研修	1	6月	31	100
全国学力・学習状況調査を活用した授業改善研修	1	12月	20	100
教科カリキュラムの活用、授業づくり講座・演習	8	6、8月	37	100
外国語活動・英語教育研修会	1	4月	30	97
外国語活動・英語小中合同研修	1	12月	23	100
小学校教員から学ぶ研修講座	1	9月	7	100
中学校教員から学ぶ研修講座	1	10月	10	100

2 小中一貫教育を通して人間関係を豊かにする研修

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
不登校児童生徒へのコーディネート力向上研修	2	7、11月	53	100
道徳教育指導者研修	1	6月	38	100
ハイパーQ活用研修会 ※1回目は講演会	2	8、9月	221	99

3 小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
デジタル教科書活用研修会	2	5月	24	100
電子黒板・プロジェクター利用研修会	1	12月	8	90
環境教育研修会	1	6月	12	100
個別の指導計画の作成と活用研修	1	5月	29	100
特別な教育課程に基づく授業づくり研修	1	6月	18	100
インクルーシブ教育システム構築モデルスクール 事業報告会	1	7月	35	97
特別支援教育指導員研修会（三南特支協主催）	1	7月	90	*
特別支援教育講演会（発達応援セミナー）	1	7月	233	*
子どもの観察力養成研修	1	8月	50	100
WISC-IV技能研修	2	10月	14	100
特別な配慮に基づく授業づくり研修会	1	11月	17	100

III 充実発展研修

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
小中一貫教育マネジメント研修	2	5、9月	65	100

IV その他

研修・講座名	講座数	実施月	受講者数	評価
メンタルヘルス研修	1	7月	22	100

※「授業力向上実践研修」「刃物・ものづくり教育推進事業」「科学教育推進事業」は別途報告。

全体（講座数と受講者数は合計、評価は平均）	35	4～12月	1,196	99
-----------------------	----	-------	-------	----

※ 評価…受講者アンケートによる4段階評定（A、B、C、D）の「A」と「B」の合計。（%）

A：役に立った

B：どちらかといえば役に立った

*…アンケート
を実施せず

C：どちらかといえば役に立たなかった

D：役に立たなかった

人権教育、同和教育研修会の報告

小中一貫教育推進課 指導主事 熊倉 隆司

新潟県教育委員会では、今年度も12月4日から10日を「人権教育強調週間」として設定し、各校に取組の実施を求めました。「生きる」シリーズ等を活用した授業や「いじめ見逃しゼロスクール集会」（名称は学校により違いがあります。）、人権擁護委員やNPO法人理事、大学教授等による講演、心温まる言葉掛けや行動を奨励し紹介し合う活動、縦割り班の活用など、終了後、各校から、工夫された取組の報告をいただきました。また、期間前や夏季休業中には、外部講師・校内講師による講話や現地学習会、授業実践に向けた指導案づくり等を各校あるいは中学校区で取り組み、研修を深められた様子も伝わってきています。校外研修に参加された方が得た成果を校内で共有する場を設けている学校も多くあり、うれしく思っています。

三条市教育委員会では、今年度も、次の表にある研修会・研究集会等への参加を各校へ要請・奨励し、参加した方が得た成果の校内での共有を勧めてきました。また、バスやワゴン車を手配し、参加しやすいように工夫しました。多くの方のご参加、ありがとうございました。

平成28年度 各校に参加を要請・奨励した人権教育、同和教育の研修会等

期 日	研 修 会 名	主 催	会 場	参加数
8月2日(火)	人権教育、同和教育主任等研修会	県教委、三条市教委他	栄庁舎	14名
8月4日(木)	新潟県同和教育研究集会	県同和教育研究協議会	妙高市	31名
10月1日(土)	部落解放新潟県研究集会	同研究集会実行委員会他	魚沼市	14名
10月12日(水)	社会同和教育市町村巡回研修会	県教委、三条市教委共催	中央公民館	34名
11月29日(火)～	「いのち・愛・人権」展	県人権・同和センター他	南魚沼市	10名
7月～10月	人権・同和教育啓発推進講座	県人権・同和センター	見附市、燕市他	

※参加数は、三条市立小・中学校教職員の参加者数です。人権教育、同和教育主任等研修会は1年おきに参加する学校が指定されます。

さて、この中で、三条市教育委員会が主催・共催した二つの研修会について簡単に紹介します。

一つ目は、8月2日に栄庁舎で開催した「人権教育、同和教育主任等研修会」です。その中で、「新潟県人権教育基本方針実践のための『教職員研修の手引き』」の活用について、グループ協議を行いました。「平成28年度教育課程の編成・実施状況等に関する調査」によりますと、参加した学校の多くで、この手引きを活用した校内研修を行っています。しかし、残念ながら、全体的には周知・活用がなかなか進んでいない状況にあるようです。この手引きは、新潟県教育委員会が平成22年に制定した「新潟県人権教育基本方針」の一層の理解と実践が図られるように、平成26年に作成・配付したものです。人権教育についての考え方やその推進、効果的な教職員研修、新潟県人権教育・啓発推進基本指針で挙げている13の人権課題についてまとめられています。ぜひ校内研修でご活用ください。

二つ目は、10月12日に中央公民館で開催した「社会同和教育市町村巡回研修会～三条・加茂・田上ブロック～」です。講演のほか、「同和問題解消に向けて、今、何をすべきか」をテーマにグループワークを行いました。教職員だけではなく、保護者、地域の方、行政職員も交えた意見交換により、同和問題についての地域の実情や学校での人権教育、同和教育の役割に改めて気付かされました。

平成29年度の主な研修会等は次のとおりです。主任以外の方からも参加していただき、校内で成果を共有する中で、人権教育、同和教育の実践への意欲をさらに高め合ってくださいようお願いします。

平成29年度の人権教育、同和教育の研修会等開催予定（H29.2.6現在）

期 日	研 修 会 名	主 催	会 場
7月25日(火)	人権教育、同和教育主任等研修会	新潟県教委、三条市教委他	栄庁舎
8月3日(木)	新潟県同和教育研究集会	新潟県同和教育研究協議会	新潟市
9月30日(土)	部落解放新潟県研究集会	同研究集会実行委員会他	新発田市
11月29日(水)～	「いのち・愛・人権」展	新潟県人権・同和センター他	阿賀野市

今年度の「刃物・ものづくり教育」の足跡

「刃物・ものづくり教育」の事業も2/7実施予定の「包丁研ぎ学習」(第三中学校2年111名)を残すのみとなりました。少し先を急いで申し訳ないのですが、各校の先生方からの実施報告書と児童生徒アンケートを基に取組の概要を振り返ってみました。今年度は、4つの学習に延べ60校、125学級、児童生徒3,307人(第三中学校2年「包丁研ぎ学習」見込みを含む)の参加がありました。

和釘づくり学習 … 小学校在学中にいずれかの学年で実施 希望する中学校も実施可

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	児童アンケート
小学校21校・35学級・853人	5:18校 4:3校	AとIの合計→96.8%

小刀学習 … 小学校在学中にいずれかの学年で実施 希望する中学校も実施可

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	児童生徒アンケート
小・中学校22校・38学級・881人	5:19校 4:3校	AとIの合計→97.1%

包丁研ぎ学習 … 中学校在学中にいずれかの学年で実施

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	生徒アンケート
中学校8校・25学級・741人	5:4校 4:3校	AとIの合計→93.5%

※↑第三中学校(2年)は実施見込みとして数に入っています。 ※↑第三中学校(2年)の教師評価、生徒アンケートは実施後の算入になります。

木工用工具学習 … 中学校在学中にいずれかの学年で実施

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	生徒アンケート
中学校9校・27学級・832人	5:6校 4:3校	AとIの合計→97.4%

○:学級数 ():参加人数 平成29年2月3日現在

学校名等	和釘づくり学習	小刀学習
三条小	5年①(13)	4年①(10)竹箸
一ノ木戸小	5年④(102)	3年③(95)竹とんぼ
嵐南小	5年⑤(160)	3年④(134)鉛筆削り
裏館小	3年②(64)	4年③(75)竹箸
上林小	5年①(30)	4年①(19)竹箸
井栗小	3年②(37)	4年②(46)竹とんぼ
旭小	5年①(11)	4年①(18)竹箸
西鱈田小	5年①(35)	3年①(29)鉛筆削り 4年①(37)竹箸
月岡小	4年②(67)	4年②(67)竹とんぼ
大崎小	6年③(90)	4年③(89)竹とんぼ
保内小	5年①(22)	3年①(16)鉛筆削り
大島小	5年①(16)	4年①(15)竹とんぼ
須頃小	6年①(13)	3年①(21)鉛筆削り
栄中央小	4年①(32) 5年②(44)	3年②(48)竹箸
栄北小	5年①(23)	4年①(19)竹とんぼ
大面小	5年①(27)	3年①(27)竹箸
長沢小	5年①(13)	3年①(18)竹とんぼ 4年①(22)竹箸
笹岡小	5年①(8)	3年①(11)竹とんぼ
大浦小	5年①(9)	3年①(10)4年①(8) 竹とんぼ(合同実施)
森町小	5年①(13)	3年①(14)①4年 (16)竹箸(合同実施)
飯田小	6年①(24)	4年①(16)竹箸
ふれあいR		中3年(3)竹とんぼ①
小中学校計	35学級・853人	38学級・881人



- ◆実施報告書(教師評価)
- 5:子どもにとってとてもよい学習
 - 4:子どもにとってよい学習
 - 3:どちらともいえない
 - 2:もう少し工夫を
 - 1:内容の改善が必要
- ◆児童・生徒アンケート
- A:とても楽しかった
 - I:楽しかった
 - ウ:どちらともいえない
 - エ:あまり楽しくなかった
 - オ:楽しくなかった

学校名	包丁研ぎ学習	木工用工具学習
第一中	2年⑤(153)	1年⑤(165)
第二中	1年④(110)	1年④(109)
第三中	2年④(111) ※2/7実施予定	1年③(89)
第四中	3年③(89)	1年③(92)
本成寺中	2年③(89)	1年③(85)
大崎中		1年③(91)
大島中	2年①(24)	1年①(26)
栄中	1年③(100)	1年③(102)
下田中	1年②(65)	1年②(73)
中学校計	25学級・741人	27学級・832人

古くから「金物のまち三条」として広く全国に知れわたり、今や全国有数の金属産業都市にまで発展した三条市。鍛冶の技術とものづくりへの飽くなき挑戦、不屈の精神。今年度の学習が、少しでもものづくりに対する興味・関心を高め、ものづくりのまち三条のよさを知るきっかけとなったのであれば幸いです。